

ホームページ



http://uchida-ta
motsu.jimdo.com

南知多民報

発行：日本共産党
南知多町委員会
連絡先：町議会議員 内田保
南知多町内海内塩田77-3
(TEL・FAX: 0569-62-1816)

9月議会の報告

町民の税金は適正に使われているか

9月議会は、昨年度の町財政の決算報告があり、町民の税金が適正に使われているか審議する議会でもありました。12日の一般質問では、内田議員は次の3点について質問しました。
①災害時要配慮者の支援計画の作成を
②学びやすい・働きやすい新中学校建設に向けて
③新型コロナ第7波とその後の感染防止に対応するために
また、「南知多町の町長・町議会議員選挙での選挙公報発行を」の請願が、町民から出され、紹介議員として賛成討論をしました。
一般質問や決算報告・議案等に対する質疑等から、一部紹介します。



内海中学校

災害時要配慮者の支援計画の作成を【一般質問】 新中学校3年は3学級でなく4学級に

【問】 町が示した災害時における要配慮者は197名で0名の地区もある。登録せず「希望する」としている方の把握のために、どのような対策を考えているか。

【答】 本町の避難行動要支援者の把握は、避難の支援を希望する方、自ら申し出てもらうこととして、その周知は町広報誌、民生・児童委員に申請促進を依頼している。

【問】 町が把握した要配慮者に対する支援者の確定と避難場所、避難方法の個別避難計画は策定されているか。

【答】 登録台帳に支援者を記載し、確定している。しかし、避難場所及び避難方法は記載していない。個別避難計画について、関係課で見直し、協議をしているところである。

【問】 大府市では災害時に自力で避難が難しい要支援者の個別避難計画を策定し、関係者での情報共有のために条例改正した。本町も名簿の共有のための条例の整備が、必要と考えるがどうか。



【答】 本町の制度は避難行動要支援者名簿への登録も地域支援者への情報提供も、要支援者本人の意思を確認する制度で、現時点では条例制定は考えていない。

新型コロナ第7波とその後の感染防止に対応するために

【問】 いつでも必要な人に配布できるように、抗原検査キットを各サービスセンターに準備し、各世帯にも配布することが必要と思うがどうか。

【答】 町としては、換気や消毒等の感染予防に努め、体調に異変があれば医療機関を受診することで感染を防ぎたいと考えているので、検査キットの配布は考えていない。

【決算質疑】

「海っ子バス」の赤字1億円というが国の補助が8千万円あるのではないか

【問】 「海っ子バス」の町民懇談会では1億円の赤字があり、値上げも仕方がないような説明だったが、このような地方バスに対しては、国からの特別交付税制度があるが、請求したのか。

【答】 海っ子バスの赤字1億円の8割（8千万円）が国から特別交付税で交付されている。今後、海っ子バスの話し合いでは、このことも報告する。

【問】 R5年度開校の南知多中学校新3年生は3学級（1クラス約35人）にせず、今の学びの条件や教員の働く条件が保障される4学級（1クラス26人）にすべきと考えるがどうか。



【答】 統合校には統合支援担当教員が期限付きで追加配置されるので、4学級にして学級担任にすることもできる。しかし、町教育委員会はできる限り多くの友人と生活する時間を優先したいと考え、40人の定数内であり、4学級編成は考えていない。

【問】 R10年度建設予定の新中学校には、プールの配置、グラウンドの拡張、ランチルームの想定はされているか。

【答】 プールは、費用対効果を考え、独自で建設せず、町内の小学校や近隣高校のプールの借用を考えている。グラウンドの拡張は現在の敷地の有効活用を考えている。ランチルームは短い時間に一斉に一か所で昼食をとることは大きなスペースが必要となり、専用施設としては難しいが、多目的施設としての位置づけで検討していきたい。

【請願】

選挙公報発行を求める請願 また不採択

町民から選挙公報の発行を求める請願が、再度出されました。町長も町当局も以前「候補者の政策を公平に比較でき、選挙への関心を高めるもの」と前向きな答弁でした。しかし、今議会最終日、賛成は2人のみで、再び否決されました。



【内田議員の賛成討論から一部抜粋】

町長・議員は 正々堂々と政策や公約を町民に示して立候補を

昨年9月の国政選挙で、選挙公報が配布されました。決算によると、町選挙管理委員会が南知多町のすべての有権者に配布するために、シールバー人材センターとタウンメールを利用し、約66万円かかっています。町の選挙では印刷代と紙代が加わり、4年に1度100万円程の支出で、実施できると思われません。
今年8月の町総合計画評価委員会でも、町民から選挙公報の配布を求める意見が出されました。
町長・議員に立候補するときには、それぞれ南知多町をどんな町にしたいのか、政策や公約を掲げて立候補するはずですが、それを町民の皆さんに知っていただき、投票してもらうことが、公正公開な選挙といえるのではないのでしょうか。町民の立場に立ち、請願に賛成します。

たもつ日記



9月議会では、いくつか驚いたことがあった。一つは来年度から始まる南知多中学校の新3年生の学級数についてである。「今の教育条件を維持するため」にせよ4学級のままで」と迫ったが、町の回答は「加配の教員を配置し、4学級にできるが、なるべく多くの友人と生活する時間を優先したいので、3学級でいく」▼全国平均は27人程度で、世界は20人以下学級が当たり前。35人のぎゅう詰め教室で本当にいいのですか？現場の子どもたちや保護者、教師の声をぜひ聞いてほしい▼もう一つは、海っ子バスの赤字問題。最初1億円もの赤字だと聞き、それでは値上げも仕方がないかと思っただ。しかし、8千万円は国から交付される！町はそれを隠していたと言われても仕方がない。町は事実を常に公正公開に町民に示し、ともに町政を考えていく姿勢が大切である▼人口は減り続け、小さなこの町は、様々な困難が山積しているが、南知多町の良いところも多々ある▼学校統合は、不十分だが、町民の声を聞きながら進めてきた。また、コロナ対策で町民からの要望が大きかった水道基本料金の給食費の6か月無償も、再度実施している。太陽光発電条例も、町民の声を取り入れつつ制定される▼これからは町民に寄り添った町政を進めてもらいたい。また、議員としても、町当局に町民の声を届け、住みよい町づくりを進めたい。